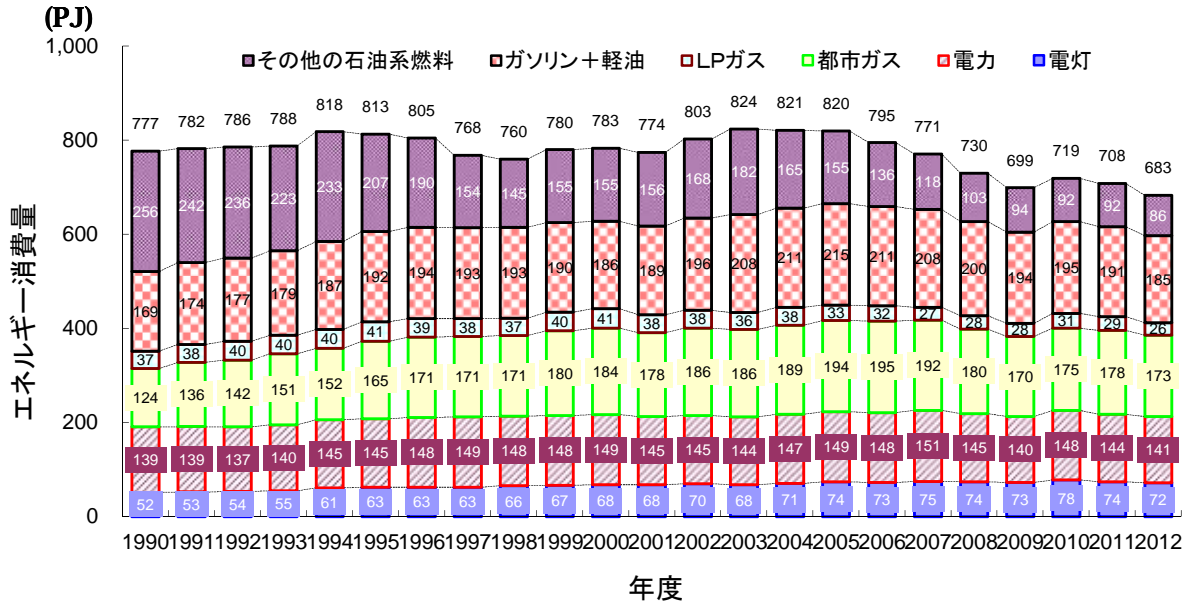


4-2 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移

府域の石油製品の販売量等から算定したエネルギー消費量は、1990年度以降は、全体としては増加と減少をくり返していますが、2012年度は1990年度と比べ12.1%減少し、前年度と比べても減少しています。燃料の種類別では、電灯、都市ガスの伸びが特に大きく、1990年度と比べ、それぞれ38.5%、39.5%増加しています。ガソリン・軽油を含む石油系燃料は近年の製造部門における燃料転換等により、1990年度と比べ36.2%減少しています。



※大阪府統計年鑑の油種別石油製品販売量等より作成。
(電灯及び電力は、1Wh=3,600Jとして換算)